

## 2004 年度 委員会活動成果報告

( 2005 年 3 月 15 日作成)

委員会名	仮設構造計画指針小委員会	主 査 名：宮崎祐助
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (仮設構造運営委員会)	委員長名：西川孝夫 主 査 名：室田達郎
設 置 期 間	2002 年 4 月 ～ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	山留め、地盤アンカー、型枠支保工など建築施工に係わる仮設構造物の基本思想、設計方針などの道標となるべく指針の作成を目標とする。 2002～3 年；建築工事における仮設構造物の特徴調査 2004～5 年；仮設構造計画指針の作成作業	
委員構成 (委員名 (所属))	.主査：宮崎祐助 (広島工業大学) 幹事：森脇登美夫 (大林組) 委員：榎孝洋 (ニッソーテクノ)、永富英夫 (フジタ)、森岡徹 (大林組)、宮森金栄 (戸田建設)、柳川裕 (建設技術支援協会)、杉原正治(竹中工務店)、池田正基(産業技術総合研究所)、川幡栄治(東亜建設工業)、上長三千長(戸田建設)、竹本信義(フジタ)、大幢(産業安全研究所)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2004 年度予算	¥220,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	①2004/06/18：9 名、②2004/07/23：11 名、③2004/10/22：10 名、④2004/12/03：12 名、⑤2005/03/24 (開催予定)
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 仮設構造計画指針で対象とする仮設構造物を、1)総合仮設計画、2)外部足場計画、3)揚重・運搬設備計画、4)山留め計画、5)乗り入れ構台計画、6)型枠支保工計画に絞り込み、それぞれについて、①計画と管理面での基本事項、②現場員として自分で確認すべき点、③専門者に注意しておくべき点、④よくある現象、という観点からキーワードを抽出した。抽出したキーワードをもとに、指針に記述すべき具体的な内容について検討した。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 当初の計画通りに進んでいる。
その他評価すべき事項	